

ごあいさつ



岡山県農業協同組合中央会

会長

村上 進通

『22世紀につなぐおかやまの「農」の風景』写真コンテストに作品をご応募いただいた皆さんに、心からお礼申し上げます。そして、多数の作品の中から入賞された皆さん、まことにおめでとうございます。

本コンテストは、岡山県とJA岡山中央会の共催により、平成18年度に、写真家の故中村昭夫先生のご協力のもと、初めて実施し、今回が第2回となります。

最近、食品の安全性が国民全世代にわたり大きな関心を集めていますが、岡山の農業は、先人達の努力の積み重ねにより、貴重な耕地が守られ、今日まで、米をはじめ多くの安全・安心な農畜産物を私たちの食卓へ届けてきました。

また、そこは、人々の生活の場として、地域文化を育む場として、そして何よりも、豊かな自然と美しい農の空間として、多くの人々に「いやし」を提供するとともに、国土を、風土を、環境を守ってきました。

そうした長い歴史を刻みながら、21世紀に生き続ける「農」の風景は、今を生きる私たちはもちろん、来たるべき世紀に向け、未来につなぐ生産と生活の場・「風景」として守っていかなければならないと考えられます。

県民の皆さんが次の世紀まで、さらに将来にわたり守り、引き継いでいかなければならない県内の「農」の風景をテーマに、昨年3月から今年1月20日までの間、作品を募集いたしました。

その結果、県下65名の方から162点の作品の応募をいただき、3月26日に「ピュアリティまきび」におきまして、岡山県立大学デザイン学部准教授の北山由紀雄先生に審査委員長をお願いし、厳正なる審査会を開催し、最優秀賞、特別賞として中村昭夫賞、県知事賞、岡山県郷土文化財団理事長賞、岡山県農業協同組合中央会会長賞を各1点と優秀賞3点、および入選10点を選定いたしました。

長年にわたり国土・風土・環境などを守ってきた「農」の風景を次の世代まで残し、守っていく必要があることを、このコンテストを通じて、多くの人々にご理解を賜りますようお願い申し上げますとともに、入賞された皆様方のますますのご健勝と、ご家族皆様のご多幸をお祈りして、ごあいさつといたします。